



# 学校だより

7月号

令和2年7月1日  
横浜市善部小学校  
校長 福田 美徳

## 学校再開から1か月

副校長 高嶋 聡

これまでに誰も経験したことがない長い長い休校が明け、子どもたちの姿が学校に戻って1カ月が経ちました。同級生や異学年の友達や教師、そして地域の様々な方と接する経験の中で成長していく子どもたちにとって、人との接触を妨げられた3カ月にも渡る長い休校期間は、大人にはわからない大きなストレスがあったのではないかと思います。学校再開後は、限られた時間の中ではありますが、担任との面談や「ころとからだのアンケート」などを通して、子どもたちの心身のケアに尽くしてきました。初めは少し緊張気味だった子どもたちも次第に緊張がほぐれてきたように思います。7月からは、給食、午後の授業も再開となり、休校前の学校の姿により近づいていきます。そのような中であっても、引き続き未知のウィルスである新型コロナウイルスの感染拡大防止に対しては、可能な限り対策を行ってまいります。保護者の皆様も、毎日の検温や健康観察、手洗いの励行、マスク等の持ち物の準備等のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

感染者の数が減少し、緊急事態宣言も解除されたとは言え、各地で感染者が報告され、ワクチンや治療薬の開発を待つ今の段階では、子どもたちの安全をどのように確保していくかは大きな課題です。本校でもすでに、全校遠足や水泳学習、各学年の遠足等の中止を決め、クラブ活動やスマイル班活動、読み聞かせや集会など様々な活動を見合わせてきました。今後予定されている様々な学校行事に対してどのような対策を行うことができるのか、実施可能であるか等の検討を繰り返しています。どの行事も子どもたちの成長にとってかけがえのないものばかりで、それを楽しみにしている保護者の皆様の思いもある中で、今後の見通しが立ちにくい状況の中でも判断をしなくてはならない苦しさを感じています。日々変わる状況や専門的な情報をしっかりと見極めて判断をしていきたいと思えます。実施や中止につきまして学校からお便り等でお知らせをさせていただきますが、その時はご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 【対策の一例です】



【マスクの正しい付け方】 【毎日の消毒作業】 【ゴミ箱には蓋】 【図書室前に消毒】 【正しい手洗い】

さて、話は変わりますが、授業参観等では、「トイレのにおいが気になる」というお声を毎年いただいています。今年度7月中旬よりトイレの改修の工事を行うことになりました。より衛生的で使いやすいトイレに生まれ変わります。昨年のうちから決まっていた工事ですが、新型コロナウイルスの影響で今年は夏休みが短くなり、それに伴い工事の期間も少し長くなってしまい10月末頃までかかる予定です。先に男子トイレを工事し、終了後に女子トイレを工事します。本校は校舎の真ん中1か所にしかトイレがありませんので、工事中は階ごとに男子・女子を指定し、足りない分は昇降口付近に設置する仮設トイレ(10個)を使用します。子どもたちには不便をかけてしまいますが、安全面に配慮しながら進めてまいりたいと思えます。